

医学研究実施のお知らせ

本学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方(もしくは代理人の方)にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】 同種造血幹細胞移植前処置であるブスルファン、シクロホスファミド、全身放射線照射併用療法の長期にわたる有効性と安全性に関する後方視的検討

【研究の概要】

研究の目的

同種造血幹細胞移植¹は血液悪性疾患の根治を目指して実施されますが、この治療を受けた後でも再発する患者さんがいます。同種造血細胞移植治療直前に行う治療は、移植前処置と呼ばれる大量放射線治療及び大量化学療法です。再発を極力防ぐ方法として、この移植前処置を強くする方法がありますが、その有効性と長期の安全性は十分検証されていません。

国内外の多くの施設で移植前処置としてブスルファン、シクロホスファミド併用療法あるいは、シクロホスファミド、全身放射線照射併用療法をもちいていますが、当院ではより強い移植前処置であるブスルファン、シクロホスファミド、全身放射線照射併用療法を用いています。

私たちはこの移植前処置治療を受けた患者様を対象に、この治療方法の長期の有効性と安全性を検証する目的で、本研究を実施します。

¹ 同種造血細胞移植とは、遺伝的に同一でないドナーからの患者さんへの造血幹細胞の移植のこと

研究期間

承認日～2026年3月31日まで、研究の実施を予定しています。

対象となる方等

研究機関： 附属病院 葛飾医療センター 第三病院 柏病院

対象となる方：1994年1月～2021年3月に附属病院で同種造血幹細胞移植前処置であるブスルファン、シクロホスファミド、全身放射線照射併用療法を受けたのちに同種造血細胞移植を実施した患者様

研究に利用する試料、情報等

試料：なし

情報：患者さんの基本情報(年齢や性別、造血器疾患の病状など)

移植前処置の治療内容、治療効果判定、副作用の発現頻度や程度、その時期など

他の機関(検査会社等含む)へ試料や情報等を提供する方法

この研究は本学のみで実施されます。他の機関への試料や情報の提供は行いません。

【問い合わせ先(対応時間：午前9時～午後5時/休診日を除く)】

東京慈恵会医科大学 腫瘍・血液内科学講座

研究代表者：石井 敬人(いしい ひると) 電話：03-3433-1111(内線：3251)

利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。